

愛知県立大学大学院看護学研究科学位論文審査基準

1. 学位の種類

修士

2. 審査体制

博士前期課程研究科会議で選出された3名の審査委員が学位審査委員会を構成して審査を行う。

3. 審査項目・方法

修士論文又は課題論文は次のとおり審査する。

【修士論文】

修士論文の審査は、次に定める審査基準に沿って面接審査し、審査委員会の全員の合意をもって総合的に判定する。

- (1) 独創性、萌芽性、発展性を有する研究である。
- (2) 文献検討が十分に行なわれ、かつその結果が適切に活用されている。
- (3) 研究目的に対して、適切な研究デザイン及び研究方法である。
- (4) 必要なデータが十分に収集できている。
- (5) 研究の目的に対して、独創性、萌芽性、発展性のある結果が得られている。
- (6) 論文の形式が適切であり、論理が明確な文章表現である。

【課題論文】

課題論文の審査は、次に定める審査基準に沿って面接審査し、審査委員会の全員の合意をもって総合的に判定する。

- (1) 看護実践の質向上につながる研究である。
- (2) 文献検討が行なわれ、かつその結果が適切に活用されている。
- (3) 研究目的に対して、適切な研究デザイン及び研究方法である。
- (4) データ収集ができている。
- (5) データを適切に分析できている。
- (6) 研究の問いに対応して、看護の質向上に資する結果が得られている。
- (7) 論文の形式が適切であり、論理が明確な文章表現である。

4. 評価

学位審査委員会が作成した審査報告書をもとに前期課程研究科会議において、無記名投票を行い、可否を決定する。

愛知県立大学大学院看護学研究科学位論文審査基準

1. 学位の種類

博士

2. 審査体制

博士後期課程研究科会議で選出された5名の審査委員が学位審査委員会を構成して審査を行う。

3. 審査項目・方法

論文の審査は、次に定める審査基準に沿って論文により審査し、審査委員会の全員の合意をもって総合的に判定する。

- (1) 独創性、新規性、発展性を有する研究である。
- (2) 看護学領域の論文としてその内容がふさわしいものである。
- (3) 先行研究が適切に活用され、研究課題に対する動向が明確にされている。
- (4) 研究目的に対して、適切な研究デザイン及び研究方法である。
- (5) 必要なデータが十分に収集できている。
- (6) データを適切かつ論理的に分析できている。
- (7) 独創性、新規性、発展性のある結果が得られている。
- (8) 結果に基づく考察が深くなされ、看護実践への示唆が導かれている。
- (9) 論文の形式が適切であり、論旨が一貫している。

4. 評価

学位審査委員会が作成した審査報告書をもとに博士後期課程研究科会議において、無記名投票を行い、可否を決定する。